

## 4月18日(水) 沖釣り同好会

今回は真鯛の乗っ込み(産卵期)に合わせて相模湾での真鯛五目に挑戦しました。従来は東京湾で真鯛に挑んで来ましたが、仕掛けのハリスが10mと長く扱い難さもあるので、今回は4.5~6mが標準の相模湾での挑戦！平塚港の豊漁丸での仕立て船となりました。

出港時間の6時半に合わせ、全員5時半には船宿に集合、6時には乗船を完了し、速やかに道具の準備も終えて臨戦態勢に入りました。今回2名ほど真鯛はビギナーの為、船長に釣り方についてのレクチャーを願い、現場に到着してからは真にOJTでの実践となりました。最初のポイントは、90~100mの深さから始まり底から6m程上まで錘を上げた処に棚取り、途中でコマセ(魚を寄せるために海中にまくエサ)をまいて呼び寄せ、針先のエサに食いつくのを待つ。外道のアジやサバが掛かるも真鯛の顔が見えぬ為、ポイントを変えたところ、漸く良型の黒鯛が上がり、船長の顔も多少ほころぶ。後半に入り、一気に30m前後の浅場に移動したところ、OJTの成果でビギナーに良型の黒鯛が掛かり、結果として船中4枚の黒鯛が上がり、真鯛の顔は拝めなかったがアジ、サバを含め夕飯の新鮮なネタは持ち帰りました。

(石原 憲)

